



サイコウ sci-甲! サイエンス 甲南高校

担当：内村・木元（1-4）、徳満・米永（2-4）

鹿児島県立博物館特集！！

今回は、鹿児島県立博物館の上舞哲也先生を訪問し、お話を伺いました。県立博物館をくまなく案内してくださり、バックヤードも見せていただきました！

○博物館の仕事内容について

博物館と聞くと、標本を展示しているというイメージを持っていませんか？博物館の仕事はそれだけではありません。「博物館法」及び「鹿児島県立博物館の設置及び管理に関する条例」の目的を達成するため、以下のような仕事もされています。

(1) 資料の収集・保管について

- ・鹿児島県本土や甬島、種子島や屋久島での資料収集と、標準化による保存
- ・トカラ列島や三島、奄美群島を中心とした、貴重な自然資料や映像資料の収集等

(2) 展示について～常設展示，企画展示，移動展示の3種類

- ・企画展示は鹿児島を中心とした自然に関して博物館のこれまでの収集資料や調査研究の成果，児童生徒の自然に関する作品や研究記録を活用し，時機を得た内容に基づいて展示を実施

(3) 調査研究について

- ・県内各地での自然に関する調査研究と報告書の発行

(4) 教育普及について

- ・化学実験や天文講座の実施，博物館の学生ボランティアへの支援



学生ボランティアに興味がある人は
応募してね！

県立博物館の
一番のお宝は
薩摩隕石！
探してみてね（＾＾）

○博物館の現状

国立博物館がクラウドファンディングで資金を集めたニュースはみんな知っていると思います。県立博物館でも全体的に国や県からの費用が不足しています。そのため、博物館では展示活動と教育普及活動が優先し、他の仕事である資料収集や調査研究の分野において予算不足のしわ寄せが来てしまっているそうです。

○上舞先生から私たちへ～SS 探究についてのアドバイス～



研究テーマは視点を産業分野に置くか、自然環境の分野に置くかを決めてから研究を進めると、社会に役立つ研究ができるそうです。そしてテーマを決めた後や新たな仮説を立てるときは、最初に小実験を行って少しデータを集めてからリサーチクエスチョンを決めた方が方針を決めやすく、しっかりとした研究ができるそうです。

さらに、好きな分野についての図鑑などに噂として書かれていることの真偽を確かめる、及び地域の生物の分布を調査することなどは、基礎研究として後の研究の役に立つそうなので、やりたい研究が見つからない場合にはおススメのテーマだそうです。

○博物館の展示を見て思ったこと

皆さんは平成30年に博物館の一部がリニューアルされたことを知っていますか？新しい展示では、鹿児島の昆虫や動物の標本だけでなく、鹿児島が直面している外来種の現状などが表現された展示物が追加されました。

外来種と言えばアメリカザリガニやアライグマを思い浮かべるかもしれませんが、実は外来種は、国内で別の地域に持ち出されたものも指します。沖縄と指宿での実例があり、オキナワキノボリトカゲが指宿へ持ち込まれて定着した際、指宿で繁殖している種を沖縄へ返そうとしたところ、DNA検査の結果、なんと沖縄の種とはDNAが異なっていたのです。その結果、指宿の種は外来種と見なされ、沖縄に帰ることはできなかったそうです。

この話を聞いて、私たちは生き物との接し方について改めて深く考える機会を得ました。皆さんもこの機会にぜひ、自然と自分との関りについて考えてみてはどうでしょうか。

○お知らせ～「蔵出し屋久島」展が開催中！

11月26日まで、博物館の企画展示として「蔵出し屋久島」が開催されています。博物館で眠っていた貴重な屋久島の展示物が見られるので、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。